

提出順	16	発言順	17	令和6年2月21日 午前・午後 11時08分受領
-----	----	-----	----	-----------------------------

(2 枚中No. 1)

令和6年2月21日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 小林 純子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和6年安曇野市議会3月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	<input type="checkbox"/> 担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	'香害'をシックハウス(シックスクール)ととらえさらなる対応・対策を		

質問の要旨（具体的に記載してください）

安曇野市教育委員会は、小中学校児童生徒を対象に昨年6月、身の回りの刺激や物質が、成長期にある子どもたちの体調の変化などに影響を与えていたのか、現状を把握するために、「生活環境の中での過敏症に関するアンケート」を実施した。

その結果から、芳香剤や柔軟剤などに含まれる化学物質で、咳や頭痛、吐き気などの体調不良がおきている児童・生徒が43人（回答数4,611件、回答率65.2%）いることがわかった。これら「香害」の健康被害は、学校内の空気中の化学物質等によって発症するシックハウス（シックスクール）症候群の枠組みで捉えることができる。

以前は、建材や備品等から放散する揮発性有機化合物（VOC）が原因物質の中心だったが、これらの使用規制が徹底されてきた現在では、教職員・児童生徒・保護者等が教室内に持ち込む、香り付き柔軟剤・洗剤、消臭・除菌スプレー、制汗剤等の成分から発するVOCが問題となっている。ことは学校だけにとどまらず、空気中の化学物質汚染は広がり、教育環境や保育環境、労働環境、生活環境にも悪影響が及んでいる。

保育所、幼稚園、児童館、児童クラブ等の子どもが集まる施設や、市役所、図書館・公民館など市の公共施設は、利用者はもちろんのことそこで働く人のためにも、「香害」やシックハウス（シックスクール）対策が求められている。

そこで、以下に質問する。

提出順	16	発言順	17	令和6年2月21日 午前・午後 11時08分受領
-----	----	-----	----	-----------------------------

(2枚中No.2)

令和6年2月21日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 小林 純子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和6年安曇野市議会3月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	<input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	「香害」をシックハウス（シックスクール）ととらえさらなる対応・対策を		
1.	体調不良がおきている（おきたことがある）児童・生徒が43人というアンケート結果を受けて、「香害」やシックハウス（シックスクール）に対してどのような対応、対策等を考えているか。		
2.	「香害」やシックハウス（シックスクール）の影響を受けて、登校が困難になっている児童や関係者がいる学校では、どのような対策を講じているか。		
3.	「香害」やシックハウスの影響を受けて、公共施設の利用に困難が生じている市民や、職務に困難が生じている職員はいるか。また、何らかの対策を講じているか。		
4.	学校環境衛生基準から見て、市の小中学校、幼稚園、認定こども園の空気環境は適正か。		
5.	建築物環境衛生管理基準から見て、市役所の空気環境は適正か。		
6.	柔軟剤や香り付け製品の化学物質の影響（香害）を見るために、従来の空気環境調査にTVOC（総揮発性有機化合物）を加えてはどうか。		
7.	2022年6月時点での市の見解は「公共施設における香害への取り組みとして、関係する職員がその実態等について学ぶ必要がある」というものであったが、この間「香害」が社会問題化しているなかでは、さらなる取り組みが必要ではないか。		